

# 平成29年度 学校経営報告

都立青山高等学校長 小澤 哲郎

## 1 29年度の取組目標と方策

<p>(1) 学校経営</p> <p>ア 組織</p> <p>(ア) 教育職員</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・企画調整会議での議論の活性化による学校経営の一層の充実・改善</li><li>・学習から生活、特別活動等までにおける生徒・保護者に係る情報の迅速な共有</li><li>・進学実績向上に資する専門性の一層の向上</li><li>・体罰や個人情報漏えい等のサービス事故の防止</li><li>・個々の生徒に応じた学習指導や相談の展開、生徒及び保護者との面談の実施</li><li>・担当部署に関らず、学校行事等の運営への積極的協力</li><li>・学校評価アンケートのIT化による効率化・高度化</li><li>・学習指導要領を見据えた教育課程の改善</li></ul> <p>(イ) 行政職員</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・進学実績の向上に資する企画提案など学校経営に参画</li><li>・中長期的視点に立脚した自律経営推進予算の編成と効率的執行</li><li>・積立金等の私費の適正な管理</li><li>・副校長等と連携した校内施設・設備の安全点検と課題解決のための支援センター等との折衝</li><li>・進学実績の向上、施設・設備の改善等の重点目標を達成するための業務の効率化</li><li>・学校評価アンケートのIT化による効率化・高度化</li><li>・安全衛生委員会等の必置委員会や会議の効率化</li></ul> <p>イ 施設・設備組織</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・全館空調システムの全面改修</li><li>・5階普通教室等の個別冷房装置の設置</li><li>・自習室の学習環境の充実</li><li>・トイレ洋式化の推進、フィルター改修による悪臭対策</li><li>・冷風機の設置</li><li>・グラウンド整備</li><li>・テニスコート防球ネット等の更新</li><li>・遮光カーテンの設置（3・4階普通教室）</li><li>・教職員共通使用備品の充実</li><li>・業務の効率化、IT化による教職員の負担軽減とライフワークバランス</li></ul>
<p>(2) 学習指導・進路指導</p> <p>ア 学習指導等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・年間指導計画の作成と到達目標の設定</li><li>・毎月教科会等で進捗状況を確認・調整</li><li>・生徒による授業評価を年2回実施し、指導を工夫・改善</li><li>・授業評価アンケートのIT化による効率化・高度化</li><li>・教員の相互授業参観を年2回（6月、11月）実施</li><li>・校内学力テスト、外部模擬試験の結果分析及び分析に基づく指導の充実・改善</li><li>・オンライン英会話学習の継続、Tokyo Global Gateway（英語村）の活用の検討</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科の特性に応じて学校図書館を活用した授業を展開</li> <li>・各教科の推薦する図書を「青山高校の100冊」として選定し、生徒の不読率を15%以下に低減</li> </ul>
イ	<p>進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路全体計画の策定と着実な実施</li> <li>・3学年進路職員会議、ケース会議の実施</li> <li>・模擬試験ごとの志望者リストの作成と学習スケジュールの指導</li> <li>・模擬試験は、学年集会で各教科担当の解説を加えて返却</li> <li>・校内作成学力テスト、外部模擬試験の実施</li> <li>・講習及び補習の実施（3年：難関国公立大、1・2年：習熟度別）</li> <li>・3年：センター試験・シミュレーション・テストの実施、センター試験及び二次試験対応時間割の編成（2学期末から2月末まで）</li> </ul>
	<p>(3) 生徒の健全育成と心身の健康</p>
ア	<p>健全育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セーフティ教室の実施</li> <li>・講話等による規範意識の高揚</li> <li>・あいさつ指導、遅刻防止の指導の実施</li> <li>・いじめアンケート実施（年3回）による未然防止、早期発見</li> <li>・いじめ対策委員会、特別支援委員会の定期開催</li> <li>・校内美化活動の指導</li> <li>・校内施設・設備使用のルールの徹底</li> <li>・生徒総会、外苑祭等の生徒会活動の指導</li> </ul>
イ	<p>心身の健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー疾患等生徒の個別の状況把握と共有化</li> <li>・生徒検診等における全校協力体制の継続</li> <li>・1学年全員面接、教員へのコンサルテーション等スクールカウンセラーの活用</li> <li>・教職員対象の保健研修会等の実施</li> <li>・発達障害の理解、教員のカウンセリング能力の向上と相談体制の充実</li> <li>・スクールカウンセラーを活用した、合理的配慮や支援を必要とする生徒への支援</li> </ul>
	<p>(4) 特別活動</p>
ア	<p>行事等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・式典等の意義の一層の浸透と校歌斉唱等による自尊感情の高揚</li> <li>・宿泊防災訓練の実施</li> <li>・日本の伝統文化の理解と継承を目的とする修学旅行の実施</li> <li>・健康維持とスポーツに親しむ基礎を培う体育祭の実施</li> <li>・外苑祭における演劇等の質の一層の向上</li> <li>・校内ビブリオバトルの継続実施</li> <li>・Tokyo Global Gateway（英語村）を活用した英語体験学習の検討</li> </ul>
イ	<p>部活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動加入率95%以上</li> <li>・公的発表会等や外部指導員等の配置に必要な予算措置</li> <li>・事故等の未然防止と万一の場合の適切かつ迅速な対応の徹底</li> <li>・顧問教諭や関係教諭、スクールカウンセラー等による面談等の実施</li> <li>・地域の小中学校、特別支援学校との部活動をとおしての生徒同士の交流活動の展開</li> </ul>

(5) 地域貢献
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピック教育等をテーマに、地域の外国大使館等と英語による講演等の文化活動や交流活動の展開</li> <li>・地域の特別支援学校との障害者スポーツをとおしての交流活動の展開</li> <li>・祭礼等の地域行事への参加や地域の清掃活動などの実施</li> <li>・地域や地域の企業、関係機関と連携した宿泊防災訓練の実施会活動の充実</li> </ul>
(6) 広報活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページを通じて、行事や部活動等の教育活動の情報発信を毎月更新</li> <li>・学校説明会、入試問題解説会等を年8回以上開催</li> <li>・近隣中学校等への出前広報活動の展開</li> <li>・中学生対象の体験授業（サマースクール）の実施</li> <li>・塾等への出前広報活動</li> <li>・デジタルサイネージやDVDを活用した学校PRの展開</li> </ul>

## 2 成果と課題

(1) 学校経営
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>ア 組織</p> <p>(ア) 教育職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画調整会議を中心として学校経営上の課題解決に取り組むことができた。</li> <li>・学校評価アンケート等のIT化により、業務縮減を図るとともに、学習から生活、特別活動等までにおける生徒・保護者に係る情報を把握し、迅速な共有課題に対応することができた。</li> </ul> <p>(イ) 行政職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5階教室の冷風機導入や自習室等の教育環境整備など進学実績の向上に資する企画提案などを行い、学校経営に参画することができた。</li> <li>・積立金や部費等の私費の適正な管理を行うことができた。</li> </ul> <p>イ 施設・設備組織</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全確認・点検等を定期的に行うとともに、改修改善を要する施設・設備について、所管の学校経営支援センターとの連絡・調整を行い、自習室の学習環境の充実・トイレ洋式化の推進、フィルター改修による悪臭対策・冷風機の設置・テニスコート整備等教育環境の整備を図ることができた。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営方針を踏まえ、教育活動の一層の成果を上げるために、進学実績向上に資する専門性の一層の向上に努める。</li> <li>・次期学習指導要領を見据えた教育課程の改善は、スケジュールの策定にとどまっている。</li> <li>・個々の生徒に応じた学習指導や相談の展開、生徒及び保護者との面談の実施は面談を実施していないクラスもある。</li> </ul> <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラウンド整備が進んでいないので、人工芝生化と外構整備に取り組んでいく。</li> </ul>

## (2) 学習指導・進路指導

### <成果>

#### ア 学習指導等

- ・年間指導計画を作成し、定期考査の目標平均点等を設定した。毎月の教科会で進捗状況を確認し、調整を図った。
- ・Webを活用した生徒による授業評価を年2回実施し、その結果を踏まえて指導の工夫・改善を図った。
- ・教員の相互授業見学を年2回実施するとともにアクティブラーニングの公開授業を実施し、授業改善を図った。
- ・英語教育推進校として、オンライン英会話を16回、ニュージーランド大使館職員による英語講演を2回実施し、実践的な英語力の一層の向上に取り組んだ。

#### イ 進路指導

- ・東京大学現役合格者を5名、難関国公立大学現役合格者を20名輩出し、進学指導重点校としての教育委員会の目標を達成することができた。
- ・国公立大学現役合格者を95名、難関私立大学現役合格者を146名輩出し、昨年度を大幅に上回る進学実績の向上を図ることができた。
- ・進路全体計画を策定し、校内学力テスト・外部模試・講習補習や面談等着実な実施を図った。
- ・進路職員会議を年6回実施し、模擬試験の分析や個に応じた指導方針を検討した。
- ・模擬試験の結果を踏まえ、生徒の苦手とする分野を把握した指導の重点化を図るとともに、校長が生徒を激励する訓話を行うなどして生徒の学習意欲を高めた。
- ・自習室机に仕切り板を設置してより多くの生徒が活用できるようにするなど、学習環境の整備を行った。

### <課題>

#### ア 学習指導等

- ・年間指導計画の改善と単元ごとの到達目標の設定、教科会での進捗状況の確認・調整
- ・次期高等学校学習指導要領及び大学入試改革に対応した新カリキュラムの策定
- ・授業改善と個々の生徒に対応した補習・講習の一層の充実
- ・IT化した授業評価の結果を分析し、成果の挙がっている指導方法等を教科・学年で共有

#### イ 進路指導

- ・模擬試験ごとの志望者リストの作成と希望に応じた講習の実施
- ・合格大学別の校内学力テスト・定期考査の分析
- ・長期休業期間中の講習を生徒の進路希望別の内容で実施

## (3) 生徒の健全育成と心身の健康

### <成果>

- ・校長の朝の立哨指導をはじめ、教員が挨拶指導を率先垂範し、礼節指導の充実を図った。
- ・Webアンケートによるいじめ等に関する調査を年3回実施し、未然防止・早期発見に努め、自他の生命や人権を尊重する豊かな心や態度の育成を図ることができた。
- ・スクールカウンセラーを活用したいじめ対策委員会や青山特別支援学校からのコーディネーターと連携した特別支援委員会を開催し、支援を必要とする生徒の情報を管理・共有し、指導・育成に役立て、継続的に生徒・保護者を支援した。

<p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な生活習慣の一層の定着</li> <li>・ 相談体制の一層の充実と生徒情報の共有</li> <li>・ 欠席の多い生徒へのスクールカウンセラー等を活用したメンタルケアの一層の支援</li> </ul>
(4) 特別活動
<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の加入率は、6月時点で96%で多くの生徒が部活動に熱心に取り組んだ。</li> <li>・ 体育祭や外苑祭に積極的に取り組み、両行事とも多数の保護者、一般の見学があった。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京都大会等における実績の向上</li> <li>・ 怪我の未然防止策の徹底や事故が起きた際の迅速かつ適切な対応</li> </ul>
(5) 地域貢献
<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 祭礼等の地域行事への参加や地元小中学校・特別支援学校との交流をとおして積極的に社会に参加・貢献しようとする態度や共生社会への参加意欲を育成することができた。</li> <li>・ 地域の外国大使館等との国際交流を展開し、豊かな国際感覚や多様性を受け入れる態度を育成することができた。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域施設と連携した行事の一層の取組</li> <li>・ 地域の外国大使館と連携したパートナーシップ校等の形態による海外の高等学校との緩やかな推進事業</li> </ul>
(6) 広報活動
<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校説明会、授業公開、入試問題解説会を開催し、広報活動の充実を図った。</li> <li>・ ホームページや都立高校合同説明会等を活用して、教育活動の特色等を発信した。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校案内DVDや過去問題集等の広報予算の効率化及び縮減</li> <li>・ デジタルサイネージを活用した広報活動の一層の充実</li> </ul>

### 3 今年度の数値目標

		数値目標	29年度実績
1	難関国立大・国公立医大現役合格者	22	20
2	難関国立大学(旧帝大含む)現役合格者	26	28
3	国公立大学現役合格者	88	95
4	難関私立大学(早慶上理)現役合格者	100	146
5	外苑祭来校者	5,000	8,516
6	学校説明会参加者(年3回)	2,000	2,222
7	ホームページ更新回数	200	220